

“スマートグリッド”小特集にあたって

福永 隆男*
Takao Fukunaga

古河電工グループは電力伝送や情報通信を中心に、社会のインフラストラクチャー（生活基盤）構築に携わってきた歴史があり、ハードウェアとソフトウェアの両面で技術的に高いポテンシャルを持っています。

送電損失を大幅に少なくする超電導ケーブルや半導体デバイス、新エネルギーの安定した供給に寄与する蓄電池（二次電池）などのソリューション開発を推進しており、スマートグリッドの実現に大きく貢献いたします。

新たな事業、新たな市場で成長を図っていくために、2010～2012年度の3ヶ年の中期計画「ニューフロンティア2012」を策定し、具体的な活動として以下の施策を実施してきました。

2010年8月スマートグリッド新事業推進室、2010年10月パワー＆システム研究所、2012年2月超電導線材メーカー「スーパーパワー社」の買収、2012年3月洋上風力プロジェクトチーム、2012年4月高温超電導事業化チーム（HTSチーム）立ち上げ。

これらの施策の成果として大きく事業展開する計画です。

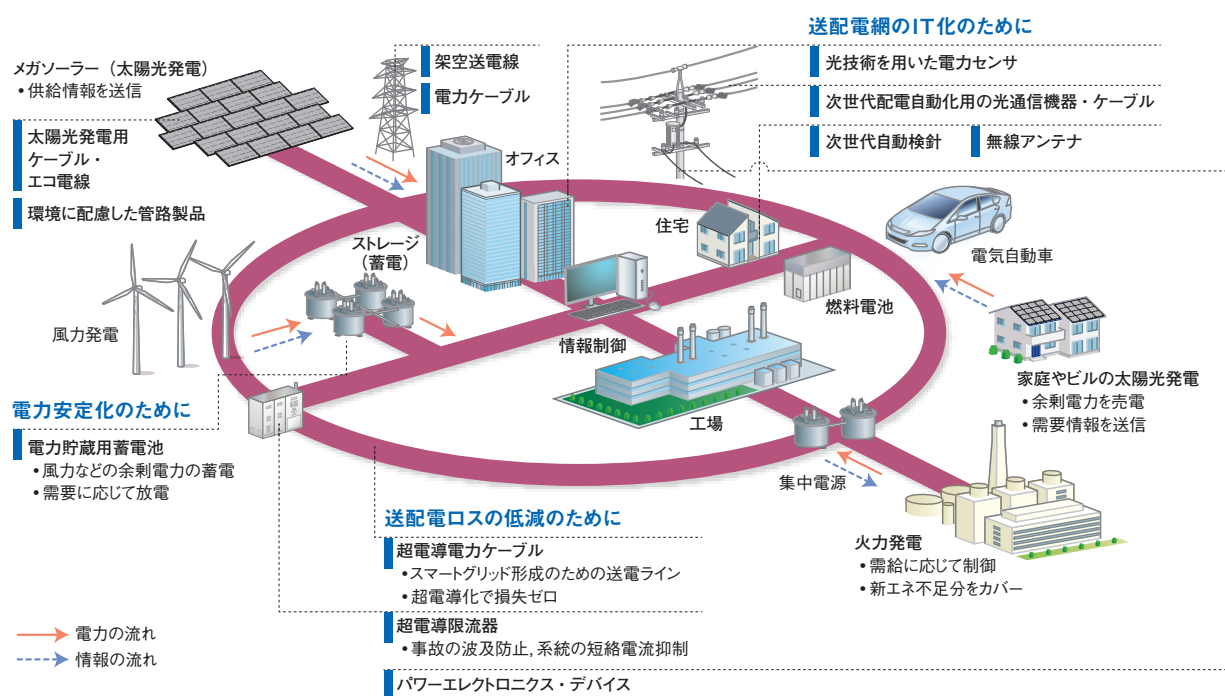
2011年3月11日の東日本大震災を契機にエネルギー問題、特に電力について注目される様になりました。現在は、電力の安定供給と場所や時間での需要平準化による電力有効利用が最重要課題になっています。

その様な課題を解決できる古河電工グループのポテンシャルを本号では、「スマートグリッド小特集」として紹介致します。

論文として、サイクルユース蓄電池、蓄電システム、高温超電導、洋上風力用送電システム、関連製品として、太陽光発電やEV向けの高性能ケーブル、機器の長寿命化や高効率化のキー技術である放熱冷却技術、電子化が更に進む次世代自動車用高信頼性電流基板などです。

関係皆様方のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

エネルギー・スマートグリッドで古河電工グループが提供できる製品・技術



* 研究開発本部 パワー＆システム研究所 所長